

素晴らしいアンサンブルに感動!!



調和のとれたアンサンブル



中野市公民館報

2014 **11**
 No.116
(通巻 No.648)

発行 中野市中央公民館
 編集 文化なかの編集委員会

〒383-0025
 中野市三好町一丁目4番27号
 TEL 0269-22-2691
 FAX 0269-26-2342

ハーモニーと共に楽しみましょう

10月2日(木) 中央公民館で第11回中野市シニア大学が開催され、ピアノ、二胡、チェロ、オーボエの演奏を楽しみました。

最初に有名なクラシック曲を鑑賞し、続いて会場の皆さんと一緒に童謡唱歌等を歌い、また素晴らしい演奏を楽しみました。

蘇州夜曲の演奏前に、作詞が西條八十、作曲が服部良一であると解説があり、二胡の演奏では、中国の広大な大陸を感じさせる響きに、会場から驚きと感嘆の声が出ていました。またアンサンブルが素晴らしく、一流の演奏を生で聞くことができました。

参加されたみなさんからは、「二胡の音色に、鳥たちがお互いに呼びかけ合いながら空を飛ぶ風景を想像しました。チェロの音色にうっとり、ピアノとオーボエの合奏には心が癒されました」と感想が寄せられました。

今月号の特集

おはなしフェスティバル
 ふるさと冒険クラブ

あおぞら

今年も気がつくくと、あちこちで聞こえた秋祭りの笛や太鼓、花火も終わり、めっきり秋らしくなってきました。

今年の夏を少し思い出してみよう。

「蛸」が裏山で鳴き始める時期は、ここ10数年は決まっているかのように、7月10日頃に鳴き始め、お盆の少し前頃まで聞こえます。

その後、アブラゼミとかミンミンゼミなどにバトンタッチし、いよいよ夏本番といったところです。

我が家の周りでは、朝4時半頃になると、小鳥よりも早く鳴き始め、「蛸」の大合唱で目を覚ます日も何日かあり、7月の全盛期には、朝夕方、日中にも鳴きます。しかも、間隔を取りながら鳴く時は一斉に鳴きます。

夏を思い出す時、ふと「蛸」の余韻に浸ることもありすが、そういえば今年の「蛸」は、例年より少し早い7月5日頃に鳴き始めたと思います。これも地球温暖化の影響なのでしょう。

(長嶺)

第7回おはなしフェスティバルinなかの開催

ようこそ！お話の世界へ

おはなしネットワーク☆NNAK ANO（小野智恵子代表）による、おはなしフェスティバルinNNAK ANOが9月28日（日）に開催されました。

親子連れなど50人ほどの来場者でにぎわいました。

♪おはなし、いっぱい観ちゃお！
おはなし、いっぱい聴いちゃお！
おはなし、いっぱい話しちゃお！

「西条の弁天さんの南に、御嶽山の社があつてなく」民話を語る会わらべは、おはなしフェスティバル初登場。地元中野市にまつわる民話「願掛不動尊」を語りました。

のテーマソングののって、おはなし

大型絵本「しりとりのだいすきなおうさま」「三びきのこぶた」

ネットワークのキャラクター「みっちゃん」「きいちゃん」「はなちゃん」が登場。参加者全員による「おはなし体操」で幕を開けました。

おはなしフェスティバルinNNAK ANOは今年で7回目。初めて会場を市立図書館に移した今回は、

の読み聞かせ、紙芝居「ばけものでら」「ひもかとおもつたら」の他、エプロンシアター「はらぺこかいじゅうモグたん」も披露。くいしんぼうのはらぺこかいじゅうモグたんが、りんごやケーキを丸飲みにしていく。それでもまだ食べ足



大型絵本 しりとりの大好きなおうさま



人形劇 うさぎとかめ



マスコットキャラクター-きいちゃん

りないモグたんは、なんと！飛行機まで飲み込んでしまうのですが。巧みな話術で笑いを誘い、会場を一体化させました。

フェスティバルのクライマックス、人形劇「うさぎとかめ」は、来場者にも参加してもらおうという趣向。山のとつぺんまでどちらが早いか競争するという、誰でも知っている話ですが、どこの家庭にもある日用品を使ってうさぎとかめを作り、参加者は山になり、劇は大いに盛り上がりました。

午後1時半から始まったフェスティバルは、子どもから大人まで楽しめるプログラムで、あつという間に予定の1時間半を終了しました。

来場者からは、「体操や人形劇など一緒に参加できるものが多く、子どもがとても喜んでいました」「民話の語りがよかった。地元中野市の

話なので、とても興味深く聴きました」などの感想が寄せられました。おはなしネットワーク☆NNAK ANOは、読み聞かせや朗読など、おはなしの世界を伝える活動をしている個人・グループが手を繋ぎあつてきた会です。おはなしする声や言葉を通じて大人も子どもも心豊かな関係を育みあうことが大事だ、という思いで活動しています。このような「おはなしのネットワーク」がどんどん広がっていくと嬉しい。また、一緒に活動する個人・団体も随時募集しています。



おはなしネットワークのみなさん

中野市ふるさと冒険クラブサバイバルキャンプ

冒険したり？ 今でしよ！



自衛隊と一緒に記念撮影

中野市ふるさと冒険クラブは9月6、7日、旧牧の入スキー場で「サバイバルキャンプ」を開催しました。市内小学生20人と実行委員のほか、自衛隊長野地方協力本部の自衛官3人も参加しました。

旧牧の入スキー場では、3年前にもサバイバルキャンプを行っていますが、今回はテントすらありません。文明的な設備は、一本の水道だけ。キツネやイノシシの住む原野の中で、ブルーシート、角材、段ボールで一夜を過ごせる秘密基地を作り、そこで寝ます。カマドは地面に穴を掘り、トイレも自分たちで作ります。

4班に分かれて秘密基地づくりを行いました。一部の大人を除いて、全員がブルーシートで寝床を作るキャンプ経験がありません。悪戦苦闘、試行錯誤。真のサバイバルを知っている自衛官も加わり、知恵と工夫を凝らし、約4時間をかけて独自の秘密基地の完成。トイレは穴を掘って、その周りをブルーシートで囲いますが、ブルーシートを支える骨材も倒木を使用。子ども4人と大人3人で、トイレ2つを作りました。

昼食は、おはなし玉手箱DONDONの小野智恵子さんの紙芝居を鑑賞しながらお弁当を食べました。夕方には、陸上

自衛隊の73式トラックに体験乗車後、夕食のハヤシライスを作りました。皆で食べるハヤシライスの味は、格別でした。



冒険紙芝居を楽しむ



手作りかまどで夕食づくり

夜にナイトウォークを行った後、悲運にも降雨となりました。創意工夫を凝らした秘密基地も雨には勝てず、北部公民館で一夜を過ごしました。翌朝、旧牧の入スキー場へ戻り、竹とんぼ作り、缶けりなどで元気いっぱい遊びました。今後、秋と冬に事業を行う予定です。



ダンボール製のテントづくりに挑戦

スタッフ募集中です!!

ふるさと冒険クラブは平成12年度から市民ボランティアで活動しています。子どもが好きな方、童心にかえって冒険をしたい方、男女年齢を問わず随時、お待ちしております。

詳細は、中野市豊田支所地域振興課内事務局 38-3111 へ。

こんにちは 分館

安源寺分館は、中野市の西部地区に位置し、戸数174戸で、4つの組から選出された運営委員16名と館長、正・副主事が、区役員5名と協力しながら活動しています。

4月のお花見、7月の市民祭、秋の研修旅行には大勢の方の参加をいただき賑やかに活動しています。

11月の敬老会は、区内の70歳以上の方々140名余りをお招きし、料理を食べていただきながら、三味線演奏やどじょうすくいなどを楽しんでいた

安源寺分館

だいています。また、人権教育懇談会を会議に併せ11月に実施しております。1月にはどんど焼き、2月には子ども達と老人会の皆さんで、百人一首の会を開催し交流を図っています。

区民の皆さんには、年2回の分館報「おうち」を発行して、分館事業を理解していただいております。

昔、八幡神社で、馬市に併せて相撲が行なわれ、相撲を見学した小林一茶の俳句碑が神社の境内にあります。是非一度ご覧ください。

今後とも、安源寺分館の活動にご理解とご協力をお願いいたします。

(安源寺分館長 市村博文)



瑞龍寺前で記念撮影

ふるさととの歴史

近年、クリーンな自然エネルギーをもっと生かそうという機運が高まっている。だが、早くも明治時代に、自然エネルギーの一つである風力を活用した人がいた。安源寺の丸山延治(元治元年・1864生まれ)である。

延治の家は養蚕を主とする農家だった。だが、米作への願望も強かった。当時、安源寺の水田は延徳沖にあり、集落から離れていたの

も、と屋敷に近いところに開田したいと延治は考えた。屋敷の西側はゆるやかな起伏が続く丘陵で、水の便が良くなかった。しかし、集落にある家は、

日本初の風車揚水

井戸を掘ると水が容易に得られることから、地下水位が高いことはわかってきた。また近くを千曲川が流れていたの、丘陵地帯は風がよく吹いた。延治は、この地下水と風力に着目したのである。

延治は、子どもの頃から機械好きの

うえ器用人だった。生業の養蚕に励みながら風車の研究にも没頭、明治23年(1890)、ついに井戸から風力によって水を汲みあげること成功した。

掘った井戸の両脇に高さ4.5メートルの櫓を建て、その先端に竹の枠にメリ

ケン粉の袋を張った八枚羽根の風車を取り付けて動力源とした。

その後、風車による揚水施設はつぎと増設され、16か所にも及んだ。その水を利用して新たに9反3畝歩(93アール)の水田が開かれたのである。

明治35年、国はこの揚水施設を「発明特許風車伝動装置」として認可。同施設は、延治から子の佐久馬へと引き継がれた。だが、水田より有利なりんご栽培が盛んになり、昭和30年頃までに姿を消してしまった。

今は、地域の自然条件を創意工夫によって産業に生かした好例として語り種になっている。(徳永 泰男)

第38回

中野市婦人のつどい

笑って元気!

楽しい笑いヨガ

講師

住井さなえ 氏

(笑いヨガティーチャー)

日時

平成26年12月17日(水)

午後1時30分〜3時

場所

働く婦人の家2階 軽運動室

持ち物

水分補給のための飲み物

汗拭きタオル

受講料

無 料

申込み

不 要

主催

中野市女性団体連絡協議会
中野市中央公民館

電話 22-2691



今月の伝言板

講座の詳しい内容につきましては、各公民館までお問い合わせください。

■中央 ☎ 22-2691 ■北部 ☎ 26-0677 ■西部 ☎ 23-1024 ■豊田 ☎ 38-2922

公民館ホームページ <http://www.city.nakano.nagano.jp/categories/kouminkan/>

	講座名	日時	場所	講師	備考
中央公民館	パソコン ふれあいサロン 〈内容〉パソコンを使用 して、わからないところ を指導員がお答えします。	毎週月曜日 ※祝日、年末年始を除く 午後1時30分～4時30分	中央公民館 団体室	新技術振興会の みなさん	<定員>6名 <受講料・申込>不要 ※メニューに沿って進めるパソ コン教室とは異なります。
	(教養講座) 年賀状づくり講座 パソコンを使ってオリジナル 年賀状をつくらう	12月3日(水)・4日(木)・ 5日(金) 午後1時30分～3時30分	中央公民館 教室	新技術振興会の みなさん	<対象>中野市内に在住・在勤 する方 <定員>20名(3日間出席できる方) <受講料>無料 <材料費>なし <持ち物>パソコン(無線LAN 付き) <申し込み>受付中
	しめ縄づくり 講習会	12月5日(金) 午後6時～8時30分	中央公民館 講堂	大宮 誠吉 先生	<対象>市内在住・在勤の方 (中学生以上) <定員>30名 <材料費>500円 <持ち物>はさみ <申し込み>11月10日(月)～28 日(金)まで
	公民館ギャラリー 中野陶友会				
北部公民館	カルチャーセミナー	11月25日～(全10回・ 毎回火曜日) ○第1回 11月25日 午後1時30分～3時 (内容)悪質商法について ○第2回 12月2日 午前11時30分～午後3時30分 (内容)ワイン工場、 給食センター見学 ○第3回 12月9日 午後1時30分～3時 (内容)金子みすずの魅力	北部公民館		<対象>中高年世代の方 <定員>40名程度 <受講料>無料 (2回有料あり給食試食1食260円)
西部公民館	シニア大学	12月5日～2月27日 (全11回・毎回金曜日) 午後1時30分～3時	西部公民館	大学教授、ご住 職、スポーツ指 導員、音楽団体 ほかのみなさん	<参加費>無料 <持ち物>筆記用具 ※大学教授、ご住職の講座や健 康体操、音楽鑑賞など様々な内 容で行います。
	キムチ作り講座 ～リンゴを使って本格キムチ を作ろう～	11月26日(水) 11月27日(木) 午前9時～正午	西部公民館	韓国料理研究会 のみなさん	<定員>16名程度 <材料費>500円 <持ち物>ビニール手袋、エプ ロン、バンダナ <対象者>2日間参加でき、はじ めての方
豊田公民館	文学のみちるべ 宮沢賢治の 『銀河鉄道の夜』	12月18日(木) 午後1時30分～3時30分	豊田公民館	近代文学研究者 堀井 正子 先生	<定員>50名 <受講料>無料 <持ち物>筆記用具
	豊田公民館文化講演会 楽しく美しく年齢 (とし)をとろう～ アニメ『サザエさん』 は年齢をとらないけど…	12月7日(日) 午後2時～3時30分	豊田公民館	アニメ 『サザエさん』 サザエさん役 加藤みどりさん (俳優・声優)	<入場料>無料 ※詳しくは当誌の折り込みチラ シをご覧ください



ノスリ/上今井(小林進)



干して又実る/一本木 (月岡尚雄)

花郷

はなさと
Flower Home



咲き誇るダリア/一本木公園(小林幸成)



双子のバターピーナツかぼちゃ/柳沢(小嶋隆徳)

花と季節の写真募集

宛先

中野市三好町一丁目4番27号
中央公民館

☎ 222・2691
Eメール c-kominkan@city.nakanonagano.jp

文化なかの編集委員会では、中野市内の花や季節の写真を募集します。未発表写真に限りです。四ツ切りまで(ワイドサイズも可)のプリント、デジタルデータ(未加工のもの)。氏名、住所、連絡先、作品名、撮影場所、花の名前等を書き送ってください。匿名希望やペンネーム掲載はその旨をお伝えください。随時募集!



▲金色に輝くメダルを目指してファイト!!

輝いてます

高丘育成会は、高丘学童育成会館で少年柔道家を育てています。写真は木曜日
の練習風景です。
4代目酒井監督と小林コーチの指導のもと、高学年の大きな子も始めたばかりの子もみんな一生懸命技を磨いています。
(入会希望、見学は090-1123-6364
酒井まで)